花巻市社会福祉協議会事務事業評価シート

（平成30年度事業）

事業名	多機能型事業 （児童発達支援･放課後等デイサービス･生活介護）	事業開始年　度	平成24年	所管課（所管事業所）	多機能型事業所こすもす
事業分類	□委託事業　■補助事業　□介護保険事業関係　■障害者自立支援事業関係　□自主事業（財源：　　）				
地域福祉推進創造計画分類	□地域福祉推進部門　□在宅福祉推進部門　■障がい児・者福祉推進部門　□法人・事務局運営部門				
事務事業の目的・概要	重症心身障害児・者が楽しく快適に過ごせる場、豊かな経験の場、健康な生活への援助の場として、児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護サービスを提供する。 定員５人最大７人。				
事業の対象者	重症心身障害児・者				

事業の指標（事業実績）件数・参加者数・利用数等	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	延べ利用者数　1,290人	延べ利用者数　1,193人	延べ利用者数　1,145人	延べ利用者数　1,156人	延べ利用者数　1,217人

事業の成果及び課題等	・その年によって児童発達支援、放課後等デイサービス、生活介護の在籍数に差はあるが、平均すると1日の定員5人を超える利用があり、数少ない重症心身障害児・者の日中活動の場として、様々な活動の機会を提供することができている。 ・理学療法士等の訓練担当職員、看護師、保育士等の異職種間の連携を取りながら、体調管理や身体機能の維持、また、発達支援等に取り組んでおり、今後も個々の興味・関心に寄り添いながら、ライフステージに応じた活動内容の研究に努めていくことが必要である。 ・近隣に同様の事業所がないため、今後、利用希望が増えていく可能性がある。 ・学校休業日に、全部の利用希望に対応ができないことが数回あった。
事業の評価（事業の必要性・妥当性）※1	□　A　■　B　□　C　□　E　□　F
評価のコメント	行政と協議しながら、特殊浴槽の導入や居宅訪問型児童発達支援事業など、新規事業や定員について情報を収集しながら検討していく必要があることから、評価Bとした。

※1　A…順調に推移（事業継続）　B…概ね順調に推移（事業継続）　C…順調に推移も事業内容の検討が必要(事業終了、見直しを含め2～3年で判断)
D…事業の抜本的な見直しが必要（事業継続するかを今年度中に判断）　E…事業の役割を終えた（事業終了）　F…その他